

史跡 大平山元遺跡 (外ヶ浜町)



縄文時代草創期の遺跡です。大平山元遺跡から出土した無文土器は、約15,000年前のものと考えられており、土器誕生のプロセスや定住のはじまりを探る上で極めて重要な遺跡です。



日本最古の土器が出土



遺物出土状況

1975年、1976年、青森県立郷土館が学術調査を実施し、それまで土器が存在しない段階の石器文化(旧石器時代)と考えられていた神子柴・長者久保文化の石器群(槍先形尖頭器や局部磨製石斧、石刃などが中心)に、無文の土器が伴うことを明らかにしました。



作業の様子



大平山元遺跡現況



無文土器片

土器片に直接付着していた炭化物の放射性炭素年代測定を行ったところ、 $12,680 \pm 140 \sim 13,780 \pm 170 \text{yr B.P.}$ という年代が得られました。これにより約15,000年前のものである可能性が指摘されています。



石鋸

旧石器時代の特徴を持つ石器群とともに、土器片と石鋸(石のやじり)が出土しています。



石刃

石刃は各種道具の素材として利用されましたが、そのままでも優れた石器です。

搔削彫器

搔削彫器とは、ものを搔き取ったり、削り取ったりする石器の総称です。



大山ふるさと資料館

廃校となった小学校を利用して開館しました。古い校舎の雰囲気と懐かしい道具を農業展示室、漁業・林業展示室、衣食住展示室に区分して展示しています。また、遺跡から出土した土器や石器も展示しています。

DATA 基本情報

- 見学施設 外ヶ浜町大山ふるさと資料館
〒030-1307 外ヶ浜町字蟹田大平沢辺 34-3
- 開館時間 9:00～16:00
(月曜日、祝日の翌日、年末年始休み)
- 見学料金 無料
- 注意 遺跡見学要問合せ

詳しい情報はこちらから➡

